

ながくてししょう しゃし さく かん 長久手市障がい者施策に関する ちょうさ アンケート調査について

みなさまには、日頃より 障がい福祉行政にご理解とご協力 をいただき、お礼申し上げます。

このアンケートは、令和3年4月に策定する「第4次長久手市障がい者基本計画」の施策を検討するため基礎資料となります。

アンケートの対象者は、市内にお住まいで 障がいに関する手帳をお持ちの方、障害福祉サービスを利用されている方、障害児通所支援を利用されている方にお送りしており、現状の把握およびニーズ分析をしたいと思います。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、令和2年2月29日（土曜日）までにアンケートのご回答をお願いします。

令和2年1月31日

ながくてしちょう よしだ いっぺい
長久手市長 吉田 一平

※ なお、お答えいただいた内容は、プライバシーの保護に万全を期すとともに、アンケート結果の集計以外には使用いたしません。

アンケートがわかりにくいなどあれば、以下にお問い合わせください。

ながくてしふくしか でんわ
長久手市福祉課 電話 0561-56-0614 Fax 0561-63-2940

ながくてしこ かていか でんわ
長久手市子ども家庭課 電話 0561-56-0633 Fax 0561-63-2100

●記入について

・事情によりご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の立場にたってご記入ください。

・回答は、あてはまる番号を「○」で囲んでください。

・令和2年4月2日時点の内容でご記入ください。

●調査票の返信について

・ご記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和2年2月29日（土曜日）までに投函してください。

問1 お答えになるのは、どなたですか。（○は1つ）

1 本人（または本人が答え代筆者が記入）	2 家族（本人の立場にたって記入）
3 施設・病院職員（本人の立場にたって記入）	4 その他の方（本人の立場にたって記入）

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（アンケートの対象者＝障がいのある方）の状況などについて、お答えください。

あなたの性別・年齢・家族などについて

問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。（いずれかに○）

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問3 あなたの年齢（令和2年4月2日現在）をお答えください。

1 0歳～5歳	2 6歳～14歳
3 15歳～19歳	4 20歳～39歳
5 40歳～64歳	6 65歳～74歳
7 75歳～	8 年齢がわからない

問4 あなたの居住地は、次のうちどれですか。（いずれかに○）

（分からない場合はお住まいの地区名を記入してください。）

1 ながくてしょうがっこうく 長久手小学校区	2 にししょうがっこうく 西小学校区	3 ひがししょうがっこうく 東小学校区	4 きたしょうがっこうく 北小学校区
5 みなみしょうがっこうく 南小学校区	6 いちほらしょうがっこうく 市が洞小学校区	7 わからない ※地区名（ ）	

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人や状況についてお答えしてください。

あなたからみた続柄でお答えください。（○はいくつでも）

1 父母	2 兄弟姉妹
3 子ども	4 祖父母
5 配偶者（夫または妻）	6 一人で暮らしている
7 友人、仲間、グループホーム	8 その他（ ）

問6 あなたが、現在暮らしているのはどちらですか。（○は1つ）

1	持ち家（一軒家、マンションなど）
2	賃貸住宅（一軒家、アパート、賃貸マンション、コーポなど）
3	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）
4	仲間と共同生活をしている（グループホームなど）
5	病院に入院している
6	その他（ ）

※問6で「1 持ち家」・「2 賃貸住宅」を選択した方にお聞きします。

問7 もし、現在一緒に暮らしている人が一緒に暮らせなくなってしまった時、あなたはどのような生活を望みますか。

1	今までどおりの場所で、変わらずに一人暮らしをしたい
2	新しい場所（アパートや賃貸マンションなど）で一人暮らしをしたい
3	仲間と共同生活をしたい（グループホームなど）
4	その他（ ）

※家族がいる人で、家族の希望が分かる場合は、以下に記入してください。

家族の希望	4 その他の場合（ ）
-------	-------------

（1～4から選択）

あなたの障がいの状況について

問8 あなたは、障害者手帳または難病医療受給者証などを持っていますか。また、その等級はいくつですか。（あてはまるものに○をし、等級を記入してください。）

1	身体障害者手帳	きゅう 級	5 も持っていない ⇒問10へ
2	療育手帳	はんてい 判定	
3	精神障害者保健福祉手帳	きゅう 級	
4	難病の認定	う 受けている ・ う 受けていない	

※問8で「1 身体障害者手帳」・「3 精神障害者保健福祉手帳」を選択した方にお聞きします。

問9 身体障がい・精神障がいは次のうちどれですか。2つ以上障がいのある方は、ご自分で主になる障がいと考えているものをお選びください。（○は1つ）

1 視覚障がい	2 聴覚障がい
3 音声・言語・そしゃく機能障がい	4 上肢障がい
5 下肢障がい	6 体幹機能障がい
7 内部の障がい（呼吸器・臓器の障がい）	8 知的障がい
9 精神障がい（統合失調症、気分障がい（うつ等）、双極性障がい等）	
10 発達障がい	11 神経系の障がい（てんかん等）
12 その他（ ）	

生活の支援について

問10 あなたは平日の日中、どのように過ごしていますか。（○は1つ）

1 就学前年齢のため、自宅にいる	2 就学前の通所施設に通っている
3 小学校に通っている（特別支援学校を含む。）	4 中学校・高等学校に通っている（特別支援学校を含む。）
5 大学・専門学校・職業訓練校に通っている	6 福祉施設等※に通っている
7 病院に入院している	8 主に自宅にいる（働いていない）
9 働いている	10 その他（ ）

※福祉施設等…生活介護事業所、就労支援事業所、デイサービスなどのことです。

問11 あなたが生活していく上での収入は何ですか。（○はいくつでも）

1 勤め先の給与・賃金	2 通所施設・事業所などの賃金・工賃
3 事業収入（自営業など）	4 財産収入（家賃収入など）
5 年金・手当など	6 家族の収入・親戚などの援助
7 生活保護費	8 その他（ ）

問12 あなたの^{ねんかん}年間の^{しゅうにゅう}収 入（^{ねんきん}年金や^{てあてふく}手当を含む。）は、いくらですか。（○は1つ）

1 ^{しゅうにゅう} 収 入 はない	2 ^{まんえんみ まん} 60万円未満
3 ^{まんえんいじょう} 60万円以上 ^{まんえんみ まん} 120万円未満	4 ^{まんえんいじょう} 120万円以上 ^{まんえんみ まん} 240万円未満
5 ^{まんえんいじょう} 240万円以上 ^{まんえんみ まん} 360万円未満	6 ^{まんえんいじょう} 360万円以上
7 わからない	

問13 現在、あなたは、^{なや}悩んでいることや^{そうだん}相談したいことがありますか。（○はいくつでも）

1 ^{じぶん} 自分の ^{けんこう} 健康や ^{ちりょう} 治 療 のこと	2 ^{せいかつ ひ} 生活費など ^{けいざいてき} 経済的なこと
3 ^{じぶん} 自分の ^{かいじょ} 介助や ^{かいご} 介護のこと	4 ^{か し} 家事（ ^{しょくじ} 食事・ ^{せんたく} 洗濯・ ^{そうじ} 掃除）のこと
5 ^す 住まいのこと	6 ^{がいしゅつ} 外 出 や ^{いどう} 移動のこと
7 ^{しゅうがく} 就 学 や ^{しんがく} 進学のこと	8 ^{し ごと} 仕事や ^{しゅうしょく} 就 職 のこと
9 ^{れんあい} 恋愛や ^{けっこん} 結婚のこと	10 ^{きんきゅう じ} 緊 急 時 や ^{さいがい じ} 災害時のこと
11 ^{はな} 話し ^{あいて} 相手のこと	12 ^{ふく し} 福祉サービスのこと
13 ^{か ぞく} 家族や ^{ちいき} 地域での ^{にんげんかんけい} 人間関係のこと	14 ^{しょく ば} 職 場 や ^{し せつない} 施設内での ^{にんげんかんけい} 人間関係のこと
15 その他（ ）	16 ^{とく} 特 に ない

問14 あなたが、^{なや}悩んでいることを^{そうだん}相談する^{あいて}相手は誰（^{だれ}どこ）ですか。（○はいくつでも）

1 ^{か ぞく} 家族・ ^{しんせき} 親戚	2 ^{ゆうじん} 友人・ ^{ち じん} 知人
3 ^{がっこう} 学校・ ^{しょく ば} 職 場	4 ^{しょう} 障 が い 者 ^{しやそうだんし えんじぎょうしょ} 相談支援事業所
5 ^{しやくしょ} 市役所の ^{かんけい} 関係課 ^{か まどぐち} 窓口	6 ^{ほ けん} 保健センター
7 ^{こそだ} 子育て ^{し えん} 支援センター	8 ^{みんせい い いん} 民生委員 ^{じ どう い いん} 児童委員
9 ^{スクール} ソーシャルワーカー	10 ^{しゃかいふく} 社会福祉 ^{しきょうぎかい} 協議会
11 ^{かよ} 通っている ^{ふくし} 福祉 ^{しせつ} 施設	12 ^{こうきょうしょくぎょうあんていしよ} 公 共 職 業 安定所（ハローワーク）
13 ^{いりょう き かん} 医 療 機 関（ ^{びやういん} 病院、 ^{しんりょうじょ} 診療 所 など）	14 ^{ホーム} ヘルパー
15 ^{インターネット} ・SNS	16 ^{どこに} どこに ^{そうだん} 相談したらよいかわからない
17 ^{とく} 特 に ない	18 その他（ ）

成年後見制度・権利擁護について

問15 あなたは、自分のお金の管理や契約を結ぶときに不安になることはありますか。
(○は1つ)

1 不安になる	2 不安にならない	3 わからない
---------	-----------	---------

問16 あなたは、日常生活自立支援事業について知っていますか。(○は1つ)

1 名前も内容も知っている
2 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
3 名前も内容も知らない

※日常生活自立支援事業とは、知的障がいや精神障がいのうち判断能力が不十分な方が自立した生活が送れるよう、福祉サービスやお金の使い方などの手助けを行うものです。

問17 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

1 制度も内容も知っている
2 制度を聞いたことはあるが、内容は知らない
3 制度も内容も知らない

※成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいのため、十分な判断ができない方の権利を守る制度です。長久手市では「尾張東部権利擁護支援センター」に委託して相談を受けています。

問18 あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

1 すでに利用している
2 今は必要ないが、将来は必要になったら利用したい
3 利用したいと思わない
4 わからない

※問18で「2」「3」を選択した方にお聞きします。

問19 あなたが、成年後見制度を利用しない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1 利用にお金がかかるから
2 支援してくれる人が誰になるか分からなく、不安だから
3 自分の意見を聞いてもらえなくなるから
4 家族・親族などが管理をしてくれているから
5 制度の内容がよくわからないから

しょうしゃさべつ 障がい者差別について

問20 あなたは、これまでに障がいがあるために差別を受けたり、嫌な思いをしたことはありますか。（○は1つ）

1 ある ⇒ 問21へ	2 ない ⇒ 問22へ
-------------	-------------

※問20で「1 ある」を選択した方にお聞きます。

問21 それは、次のうちどのような場所で感じましたか。（○はいくつでも）

1 学校	2 市役所や図書館、体育館などの公共施設
3 仕事場	4 病院などの医療機関
5 バスや電車などの公共交通機関	6 店舗や公園などの外出先
7 住んでいる近所	8 その他（ ）

問22 あなたは、より安心して暮らしていくためにはどういった配慮や取組が必要だと思えますか。（○はいくつでも）

1 障害者差別解消法の周知	2 障がい特性に関する啓発
3 印刷物などへの字の大きさへの配慮	4 連絡先のFAX番号やメールアドレスの記載
5 講演会などでの手話通訳者の設置	6 施設内のバリアフリー化
7 道路などでの段差の解消	8 その他（ ）

問23 あなたは、障がいのある人が会社などで就労するにあたり、どのような配慮が必要だと思えますか。（○はいくつでも）

1 職場の人たちが障がいの特性を理解すること
2 職場に障がいの特性に応じた設備があること
3 体の調子が悪いときに休めること
4 職場内で相談や支援をする人がいること
5 通勤方法や通勤時間をずらすなどの配慮があること
6 通院時間の確保、服薬時間などの配慮があること
7 外部で困ったときの相談先があること
8 その他（ ）

しょうがいふくし 障害福祉サービスなどについて

問24 あなたは福祉サービスを利用していますか。（○は1つ）※参考：問28

1 現在利用している ⇒ 問27へ
2 以前利用していたが、現在はしていない ⇒ 問27へ
3 利用したいが、利用できない ⇒ 問25へ
4 利用したことがない ⇒ 問26へ

※問24で「3 利用したいが、利用できない」を選択した方にお聞きします。

問25 福祉サービスが利用できない理由は何ですか。（○は1つ）

1 利用手続きが難しいから	2 近くにしたいサービス事業所がないから
3 事業所を探すことができなかったから	4 利用料の負担が大きいから
5 事業所に利用を断られたから	6 その他（ ）

⇒ 問28へ

※問24で「4 利用したことがない」を選択した方にお聞きします。

問26 福祉サービスを利用したことがない理由は何ですか。（○は1つ）

1 利用する必要がないから	2 制度を知らなかったから
3 その他（ ）	

⇒ 問28へ

問27 あなたが障害福祉サービスなどを利用する上で、困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1 サービス提供や内容に関する情報が少ない	2 福祉サービス事業者が少ない
3 サービス利用の手続きが大変	4 事業者との日時などの調整が大変
5 利用できる回数や日時が少ない	6 サービスの質について
7 他の利用者との関係について	8 利用者負担について
9 その他（ ）	10 特に困っていることはない

問28 あなたが利用している（していた）福祉サービス及び今後利用したいサービスについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。 ※介護保険制度の利用分は除く。

区 分		利用状況		利用の意向		
		利用している	利用していない	利用したい	利用の予定はない	わからない
1 訪問系サービス	①居宅介護（ホームヘルプ） ヘルパーが自宅に訪問し、食事・入浴・排せつなどの身体介護、調理・掃除・洗濯などの家事援助、通院介助を行います。	1	2	1	2	3
	②重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴、排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行います。	1	2	1	2	3
	③同行援護 視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がいのある人の外出に同行し、必要な視覚的情報の支援等を行います。	1	2	1	2	3
	④行動援護 知的障がい、精神障がいにより行動に著しく困難がある方に、外出するときに必要な介助や移動の補助などを行います。	1	2	1	2	3
	⑤重度障害者等包括支援 常時介護を必要とすることが高く、意思疎通を図ることに著しい支障がある方に様々な福祉サービスを包括的に提供します。	1	2	1	2	3
2 通所系サービス	①生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	1	2	3
	②自立訓練（機能訓練・生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2	3

区 分		利用状況		利用の意向		
		利用している	利用していない	利用したい	利用の予定はない	わからない
2 通所系サービス	③就労移行支援 一般企業等への就職を希望する方に、一定期間就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行います。	1	2	1	2	3
	④就労継続支援（A型） 一般企業等での就職が困難な方に、雇用契約等に基づく働く場の提供や知識・能力の向上のための訓練や支援を行います。	1	2	1	2	3
	⑤就労継続支援（B型） 一般企業等での就職が困難な方に、働く場の提供や知識・能力の向上のために必要な訓練や支援を行います。	1	2	1	2	3
	⑥就労定着支援 福祉サービスを利用して、一般企業等へ就職した方の就労の継続を図るため、関係機関との調整や相談などを行います。	1	2	1	2	3
	⑦短期入所（ショートステイ） 在宅の障がいのある人を介護する方が病気の場合などに、短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。	1	2	1	2	3
	⑧療養介護 医療と常時の介護を必要とする方が、医療機関において、機能訓練・療養上の管理、介護を行います。	1	2	1	2	3
	⑨自立生活援助 一人暮らしをしている方に、訪問や相談などを行い、生活を続けていくために必要な支援や環境整備を行います。	1	2	1	2	3
	⑩児童発達支援（医療型含む） 就学前のお子さんに対して、日常生活の基本的動作の指導、集団生活への適応のための訓練などを行います。	1	2	1	2	3
	⑪放課後等デイサービス（医療型含む） 学校通学中のお子さんに対して、放課後や長期休暇中において、生活能力向上のための訓練などを行います。	1	2	1	2	3

	⑫^{ほいくしょうほうもんしえん}保育所等訪問支援 ^{しどういん}指導員が、^{ほいくえん}保育園や^{がっこう}学校などを訪問し、^こお子さんや^{しえん}支援に関わる^{しよくいん}職員に対して、^{せんもんてき}専門的な支援や^{しえん}助言などを^{おこな}行います。	1	2	1	2	3
	区 分	利用状況	利用の意向			
		利用している	利用していない	利用したい	利用の予定はない	わからない
3 入所系サービス	①^{きやうどうせいかつえんじょ}共同生活援助（グループホーム） ^{やかん}夜間や^{きゆうじつ}休日、^{きやうどうせいかつ}共同生活を行う^{おこな}住居で、^{じゆうきよ}相談や^{そうだん}日常生活^{にちじやうせいかつ}上の援助を行います。	1	2	1	2	3
	②^{しせつにゅうしよしえん}施設入所支援 ^{しせつ}施設に入所する^{しよくじ}障がいのある人に対し、^{かいご}入浴、^{しえん}排せつ、^{おこな}食事の介護などの支援を行います。	1	2	1	2	3
4 地域生活支援事業	①^{いどうしえんじぎょう}移動支援事業 ^{おくがい}屋外での移動に困難がある^{しよ}障がいのある人に対し、^{ひと}外出のための^{たい}支援を行います。	1	2	1	2	3
	②^{ちいきかつどうしえん}地域活動支援センター事業 ^{じぎょう}通所により、^{つうしよ}創作的活動や^{そうさくてきかつどう}機能回復訓練を行う^{きのかいふくくんれん}ほか、^{おこな}障がいのある人^{しよ}同士の^{おこな}交流の場を行います。	1	2	1	2	3
	③^{にっちゅういちじしえんじぎょう}日中一時支援事業 ^{にっちゅう}日中、^{かぞく}家族の^{しゆうろうしえん}就労支援や^{いちしてき}一時的な^{きゆうそく}休息を^{もくてき}目的に、^{しよ}障がいのある人^{おこな}に活動の場所を提供します。	1	2	1	2	3
	④^{いしそつうしえんじぎょう}意思疎通支援事業 ^{ちやうかく}聴覚・^{げんごきのう}言語機能などの^{しよ}障がいのため^{いしそつう}意思疎通を図ることに^{はか}支障のある人^{おこな}に対し、^{ししやう}手話通訳者などの^{しゅわつうやくしや}派遣を行います。	1	2	1	2	3
	⑤^{にちじやうせいかつようぐきゆうふじぎょう}日常生活用具給付事業 ^{しよ}障がいのある人などに^{ひと}対し、^{たい}日常生活上の^{にちじやうせいかつじやう}困難を^{こんなん}解消するための^{かいしやう}用具の^{ようぐ}給付を行います。	1	2	1	2	3

こよう しゅうろう 雇用・就労について

問29 あなたは、^{げんざい}現在、^{しごと}仕事をしていますか。（いずれかに○）

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 している ⇒ ^{とい} 問30へ | 2 していない ⇒ ^{とい} 問32へ |
|-----------------------------|------------------------------|

※問29で「1 している」を選択した方におたずねします。

問30 あなたは、どこで働いていますか。（○は1つ）

1 ^{かいしゃ} 会社などで ^{せいしゃいん} 正社員・ ^{せいしょくいん} 正職員として ^{はたら} 働いている
2 ^{かいしゃ} 会社などでアルバイト、パート、 ^{けいやくしゃいん} 契約社員、 ^{はけんしゃいん} 派遣社員として ^{はたら} 働いている
3 ^{しゅうろうけいぞくしえん} 就労継続支援A型・B型、 ^{がた} 作業所などで ^{はたら} 働いている（ ^{ふくしてきしゅうろう} 福祉的就労）
4 ^{じえいぎょう} 自営業
5 ^{ないしょく} 内職・ ^{じえいぎょう} 自営業の手伝い
6 その他（ ^た ）

※問29で「1 している」を選択した方におたずねします。

問31 ^{いま}今の仕事に就いて、どのくらい経ちましたか。（○は1つ）

1 ^{げつみまん} 1か月未満	2 ^{げついじょう} 1か月以上3か月未満
3 ^{げついじょう} 3か月以上6か月未満	4 ^{げついじょう} 6か月以上1年未満
5 ^{ねんいじょう} 1年以上3年未満	6 ^{ねんいじょう} 3年以上5年未満
7 ^{ねんいじょう} 5年以上10年未満	8 ^{ねんいじょう} 10年以上20年未満
9 ^{ねんいじょう} 20年以上	

※問29で「2 していない」を選択した方におたずねします。

問32 ^{はたら}働いていない主な理由は何ですか。（○は1つ）

1 ^{ねんれい} 年齢のため（ ^{ようしょう} 幼少・ ^{こうれい} 高齢）	2 ^{しょう} 障がいにより、できる ^{しごと} 仕事がない
3 ^{きゅうしょくちゅう} 求職中または ^{しょくぎょうくねんちゅう} 職業訓練中である	4 ^{しゅうろう} 就労するに当たっての ^あ 相談先がわからない
5 ^{しごと} 仕事をする ^{ひつよう} 必要がない	6 ^{はたら} 働きたいが ^{はたら} 働けない ⇒ ^{とい} 問33へ
7 その他（ ^た ）	

※問32で「6 働きたいが働けない」を選択した方におたずねします。

問33 その理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1 障がい ^{しょうがい} の程度 ^{ていど} が重 ^{おも} い、病弱 ^{びょうじやく} なため	2 働く場 ^ば が見つからない
3 賃金 ^{ちんぎん} が低 ^{ひく} いなど労働条件 ^{ろうどうじょうけん} が悪い	4 自分に合う（できる）仕事 ^{しごと} がない
5 通勤 ^{つうきん} が困難 ^{こんなん}	6 家事・育児・介護 ^{かいご} のため
7 障がいのある人 ^{ひと} について職場 ^{しょくば} の理解 ^{りかい} 度が低 ^{ひく} い	8 働くことが不安 ^{ふあん} である
9 家族 ^{かぞく} の理解 ^{りかい} や協力 ^{きょうりやく} が得 ^え られないため	10 その他（ ）

※今までに離職^{りしょく}されたことがある方^{かた}にお聞きします。

問34 就労^{しゅうろう}が続^{つづ}かなかった理由^{りゆう}は何ですか。（〇はいくつでも）

1 体力的 ^{たいりよくてき} に続かないため	2 体調 ^{たいちょう} に波 ^{なみ} があり、いつも同じようには働 ^{はたら} けないため
3 職場 ^{しょくば} の理解 ^{りかい} がなく、働 ^{はたら} きづらくなったため	
4 職場 ^{しょくば} に迷惑 ^{めいわく} をかけているような気 ^き がしたため	
5 仕事 ^{しごと} が分 ^わ からない、うまくいかないため	6 職場 ^{しょくば} の上司 ^{じょうし} や同僚 ^{どうりょう} と仲良 ^{なかよ} くやれないため
7 給料 ^{きゅうりょう} が低 ^{ひく} いため	8 家族 ^{かぞく} の理解 ^{りかい} や協力 ^{きょうりやく} が得 ^え られないため
9 その他（ ）	

問35 あなたは、就労^{しゅうろう}していくためには、どのような支援^{しえん}が必要^{ひつよう}だと思いますか。（〇はいくつでも）

1 仕事探 ^{しごとさが} しから就労 ^{しゅうろう} までの総合 ^{そうごうてき} 的な相談 ^{そうだんしえん} 支援	
2 働くための知識 ^{ちしき} や能力 ^{のうりよく} を身 ^み につけるための訓練 ^{くんれん}	
3 職場 ^{しょくば} を理解 ^{りかい} するための就労 ^{しゅうろう} 体験 ^{たいけん}	
4 障がい ^{しょうがい} の特性 ^{とくせい} にあった職業 ^{しょくぎょう} ・雇用 ^{こよう} の拡大 ^{かくだい}	
5 障がい ^{しょうがい} に対する理解 ^{たい} を深 ^り めるための職場 ^{しょくば} への働 ^{はたら} きかけ	
6 職場 ^{しょくば} のバリアフリー ^か 化	
7 障がい ^{しょうがい} や病気 ^{びょうき} などに応 ^{おう} じた柔軟 ^{じゅうなん} な勤務 ^{きんむ} 体制 ^{たいせい}	
8 ジョブコーチ ^{かいじょしゃ} や介助 ^{しよくば} 者 ^{ていちゃく} などの職場 ^{しえん} に定着 ^{ていちゃく} するための支援	
9 その他（ ）	

ち い き しゃ かい 地域社会とのかかわりについて

問36 あなたは、ふだん近所の方とどの程度おつきあいをしていますか。（○は1つ）

1 いえ い き 家を 行き来するつきあい	2 た ばなし てい ど 立ち話をする程度のつきあい
3 あいさつをする程度 のつきあい	4 ほとんどつきあいはない

問37 あなたは、障がいのある人に対する地域の理解は進んできたと思いますか。（○は1つ）

1 かなり進んできた	2 まあまあ進んできた
3 あまり進んでいると思わない	4 進んでいない
5 どちらともいえない	

問38 あなたが安心して地域で生活するにはどのような支援が必要ですか。（○はいくつでも）

1 しんたい かいご たの ひと 身体の介護を頼める人	2 そうじ せんたく か し たの ひと 掃除や洗濯などの家事を頼める人
3 にっちゅう かよ ばしょ 日中に通える場所	4 きんきゅう じ い ばしょ 緊急時に行くことができる場所
5 がいしゅつ しえん 外出のときの支援・サービス	6 いりょうきかん じゅうじつ 医療機関の充実
7 しゅうろう しえん 就労するための支援・サービス	8 はいしょく 配食サービス
9 こま そうだん ばしょ 困ったことを相談できる場所	10 グループホームなどの住むための場所
11 となりきんじょ すん ひと こうりゅう 隣近所に住んでいる人との交流	12 その他（ ）

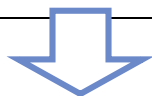
さいがい そな 災害への備えについて

問39 あなたが災害発生時に不安に思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

1	さいがい かん じょうほう にゅうしゅ 災害に関する情報を入手できるかわからない
2	どこに ひなん 避難してよいかわからない
3	ひなん かいじょ しえん ひと 避難するときに介助や支援をしてくれる人がいない
4	ひなんじょ ひなんばしょ しょう ひと はいりょ しんぱい 避難所（避難場所）が障がいのある人に配慮されているかどうか心配である
5	ひなんじょ ひなんばしょ ひつよう いりよう せつび しんぱい 避難所（避難場所）で必要な医療や設備があるか心配である
6	その他（ ）
7	とく 特にない

問40 あなたは、災害発生時に避難の手助けが必要ですか。（〇は1つ）

1 はい ⇒ 問41へ	2 いいえ ⇒ 問42へ
-------------	--------------



問41 避難を手助けしてくれる人はいますか。いずれかに〇をし、それはどなたですか。

てだす 手助けしてくれる人	それはどなたですか(あてはまるものすべてに〇)	
1. いる 2. いない 3. わからない	1 かぞく 家族	2 ちか す しんぞく 近くに住む親族
	3 しせつ しょくいん 施設の職員	4 となりきんじょ じゅうみん 隣近所の住民
	5 じしゅほうさいかい ひと 自主防災会の人	6 じちかい ひと 自治会の人
	7 みんせい いじん じどう いじん 民生委員児童委員	8 その他（ ）

問42 あなたは、「避難行動要支援者登録※」を知っていますか。（〇は1つ）

1 すで とうろく 既に登録している	2 し 知っているが登録をしていない	3 し 知らない
-----------------------	--------------------	-------------

※避難行動要支援者登録

さいがい じ きんきゅう じ できせつ えんじょ じんそく ちいき なか う
災害時および緊急時における適切な援助を迅速に地域の中で受けられるよう、所在や支援に
ひつよう ないよう じぜん し とうろく じょうほう しえんだんたい ていきょう
必要な内容を事前に市に登録し、その情報を支援団体へ提供をするものです。

医療的ケアについて

問43 現在「医療機器等の使用」または「医療的ケアの必要」がありますか（○は1つ）

1 ひつよう 必要 ⇒ 問44へ	2 ひつよう 必要ない ⇒ 問48へ
------------------	--------------------

※問43で「1 ひつよう 必要」を選択した方にお聞きします。

問44 ひつよう 必要としている「医療機器」または「医療的ケア」は何ですか。（○はいくつでも）

1 じんこうこきゅうき 人工呼吸器（レスピレーター）	2 きかんせつかい 気管切開（カニューレ留置）
3 さんそきゅうにゅう 酸素吸入	4 たんのきゅういん たんの吸引
5 どうりょう 導尿	6 じんこうこうもん 人工肛門
7 けいかんえいよう 経管栄養	8 いんすりんとうよ インスリン投与
9 その他（ ）	

※問43で「1 ひつよう 必要」を選択した方にお聞きします。

問45 いりようてき 医療機器等の管理 や いりようてき 医療的ケア に関して、主にどなたが おも 看護・かいご 介護をされていますか。（本人からみた続柄）（○はいくつでも）

1 はは 母	2 ちち 父	3 そふぼ 祖父母
4 きょうだい 兄弟	5 ほんにん はいぐうしゃ 本人の配偶者	6 その他親族（ ）
7 その他（例：ほうもんかんごし 訪問看護師・かいごしとう 介護士等）（ ）		

※問43で「1 ひつよう 必要」を選択した方にお聞きします。

問46 いりようてき 医療機器等の管理 や いりようてき 医療的ケア が必要なことで、こま 困ったことがありましたか。（○はいくつでも）

1 しょう 障がい福祉サービスが利用できなかった（例：移動支援等）（内容： ）	
2 さんか 参加できない行事等があった（内容： ）	
3 おも 主な看護・介護者が病気の時などに代わりの人を探すのが大変だった	
4 その他（内容： ）	

※問43で「1 ひつよう 必要」を選択した方にお聞きします。

問47 どのような はいりよ とりくみ 配慮や取組があると、より生活しやすいと思われませんか。（自由記載）

ながくてし しょう ふくしし さいく 長久手市の障がい福祉施策について

問48 ながくてし しょう ふくしし さいく
問48 長久手市は、あなたにとって暮らしやすいまちですか。（〇は1つ）

1 はい	2 いいえ（下の欄へ）	3 どちらでもない
------	-------------	-----------

※ 「2 いいえ」を選択した方におたずねします。

その理由は何か？ []

問49 あなたが、ながくてし さいく において、もっとも優先すべきと考えるものについて、次から上位3つを選び、優先すべき順にその番号を記入してください。

1 しょう さいく ひと たい りかい そくしん 障がいおよび障がいのある人に対する理解の促進
2 さべつ きやくたい じんけんようご かん さいく 差別や虐待など人権擁護に関する施策
3 しょう こ きょういく いくせい かん さいく 障がいのある子どもの教育・育成に関する施策
4 こよう しゅうろう そくしん かん さいく 雇用・就労の促進に関する施策
5 しょうがいふくし じゅうじつ さいく 障害福祉サービスの充実のための施策
6 てあて けいざいてききゅうふ じゅうじつ 手当などの経済的給付の充実
7 いりょうひ ふくし りようじ ふたんけいげん かん さいく 医療費・福祉サービス利用時の負担軽減に関する施策
8 ちいき とのコミュニティづくりに関する施策
9 バリアフリーの街づくりのための施策
10 じょうほう しえん さいく 情報・コミュニケーション支援の施策
11 さいがいたいさいく ぼうはんたいさいく あんぜん あんしん かん さいく 災害対策や防犯対策など、安全・安心に関する施策

（1～11から3つ選択）

1 位		2 位		3 位	
-----	--	-----	--	-----	--

じゅうきにゅうらん
《自由記入欄》

◎長久手市の障がい福祉施策について、ご意見やご要望などがありましたら、自由に
記入ください。また、ここ数年から現在までの間に、長久手市の福祉サービスや制度、取組
等が充実したと思う事柄があれば、あわせてご記入ください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

この調査票^{ちようさひよう}を同封^{どうふう}の返送用封筒^{へんそうようふうとう}に入れて、令和^{れいわ}2年^{ねん}2月^{がつ}29日^{にち}(土曜日^{どようび})までにポストへ入れてください。

アンケートの対象者が、^{たいしょうしゃ}20歳未満^{さいみまん}（0～19歳^{さい}）

のかたは、あわせて、次ページもお答えください。

(かいとう は ぼごしゃのかた ねが
回答は保護者の方がお願いします。)



お子さんの成長発達を支える仕組みについて

問50 お子さんの発達や障がいについて、気になった時期はいつ頃ですか。

() 歳頃

問51 「問50」に関して、気になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1 出産後に主治医から説明を受けた	2 保健所の職員から話があった
3 保健センターの職員から話があった	4 乳幼児健診の健診医から話があった
5 医療機関の医師から説明を受けた	6 保育園・幼稚園の先生から話があった
7 学校の先生から話があった	8 親族から心配された
9 友人・知人から心配された	10 自分で本やホームページを見た
11 もともと知識があった	12 覚えていない
13 その他()	

問52 「問50」の時期に、困ったことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1 お子さんの発達について知る機会がなかった
2 お子さんへの接し方が分からなかった
3 相談機関が分からなかった
4 専門の医療機関が分からなかった
5 専門の医療機関で診てもらうまでに時間がかかった
6 必要な支援(サービス)を利用するまでに時間がかかった
7 必要な支援(サービス)を利用できなかった→理由()
8 身近に悩みや不安を話せる人がいなかった
9 進路(就園・就学・進学・就労など)について相談する機関が分からなかった
10 他の家族や(お子さんの)きょうだいのことが後回しになった
11 仕事ができず、経済的に大変だった
12 その他()

問53 「問50」の気になった時期に、どこの機関に相談しましたか（〇はいくつでも）

1 医療機関	2 保健所	3 児童相談所
4 保健センター	5 子育て支援センター	
6 家庭児童相談室		
7 障がい者基幹相談支援センター（社会福祉協議会）		
8 相談支援事業所（例：おかげさん・ぴっと・とーたす・その他）		
9 障がい福祉サービス事業所（例：生活介護・放課後等デイサービス・その他）		
10 保育園・幼稚園等		
11 学校（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー含む）		
12 Nハウス（適応指導教室）		
13 児童クラブ・学童保育所等		
14 学習塾や習い事等		
15 その他（ ）		

問54 「問50」の気になった時期に、感じたことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1 ショック、つらい（という気持ち）
2 「診断（疑い含む）」や「見立て」に対する疑いや怒り
3 お子さんの成長発達や将来に対する不安
4 同年代の他のお子さんとの違いや周囲の目が気になる
5 個人差があるため気にする必要はない
6 何をしてよいか分からない
7 （それまでであった）もやもやした気持ちが晴れた
8 お子さんのありのままを受け止めたい
9 お子さんのためにできる限りのことをしたい
10 支えてくれる人が「いない」
11 その他（ ）

問55 お子さん^ことご家族^{かぞく}が安心して生活^{せいかつ}するために、どのような取組^{とりぐみ}の充実^{じゅうじつ}が必要^{ひつよう}だと思^{おも}いますか。（〇はいくつでも）

1	わかりやすい相談窓口 ^{わ そうだんまどぐち しゅうち} の周知
2	総合的な相談窓口 ^{そうごうてき そうだんまどぐち う} （生まれてから卒業 ^{そつぎょう} 、就労 ^{しゅうろう} までの一貫 ^{いつかん} した相談体制 ^{そうだんたいせい} ）
3	専門職 ^{せんもんしよく} （心理職 ^{しんりしよくとう} 等 ^{とう} ）による相談 ^{そうだん} の機会 ^{きかい}
4	福祉サービス ^{ふくし} の充実 ^{じゅうじつ} （児童発達支援 ^{じどうはつたつしえん} ・放課後等デイサービス ^{ほうかごとう} など）
5	関係機関 ^{かんけいきかん} の連携 ^{れんけい} （医療 ^{いりょう} ・保育 ^{ほいく} ・教育 ^{きょういく} ・福祉 ^{ふくし} 等 ^{とう} ）
6	就労 ^{しゅうろう} や再就職 ^{さいしゅうしょくとう} 等 ^{とう} に関する支援 ^{しえん}
7	居場所 ^{いばしょ} や余暇 ^{よか} の充実 ^{じゅうじつ} 等 ^{とう} に関する支援 ^{しえん}
8	保護者 ^{ほごしゃ} 同士 ^{どうし} の交流 ^{こうりゅう} の機会 ^{きかい}
9	保護者 ^{ほごしゃ} 向け ^{むけ} の勉強会 ^{べんきょうかい}
10	親子 ^{おやこ} で参加 ^{さんか} できる講座 ^{こうざ} やイベント
11	（お子さん ^こ の）きょうだいと保護者 ^{ほごしゃ} がふれ合う機会 ^{あきかい}
12	支援 ^{しえん} をする職員 ^{しよくいん} のスキルアップ
13	障がい ^{しょうがい} のある子ども ^こ への理解 ^{りかい} や知識 ^{ちしき} 向上 ^{こうじょう}
14	その他 ^た （ ）

アンケートは以上^{いじょう}です。ご協力^{きょうりよく}ありがとうございました。
 この調査票^{ちょうさひょう}を同封^{どうふう}の返送用封筒^{へんそうようふうとう}に入れて、
 令和2年2月29日^{れいわ ねん がつ にち}（土曜日^{どようび}）までにポストへ入^いれてください。